

2007年5月14日
エルピーダメモリ株式会社

エルピーダの DDR3 メモリがインテル® G33 チップセット リファレンスボードでのバリデーションを取得

DDR3 メモリプラットフォームの立ち上げを全面的にサポート



エルピーダメモリ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長兼 CEO:坂本幸雄 以下、エルピーダ)は、次世代メインメモリである DDR3 メモリの Intel Corporation(以下、インテル)G33 チップセット リファレンスボードでのバリデーションを取得いたしました。インテルのリファレンスプラットフォームにおいてエルピーダの DDR3 メモリの動作が確認されるとともに、エルピーダ製品の高い品質、信頼性が認められたものです。

エルピーダは、2005年8月に DDR3 SDRAM の開発を完了して以来、DIMM 形態でのサンプル出荷やさらなる高速化技術の開発を行ってまいりました。この DDR3 メモリ開発で先行したことにより、インテルにはすでに数万枚の DIMM を出荷し、DDR3 メモリプラットフォームの立ち上げを両社で密接に協力して進めています。このたびのバリデーション取得により、次世代 DDR3 メモリプラットフォームの実現にいち早く確証を得ることができたといえます。

インテルのシニアフェローである Pete Mac Williams 氏は次のように述べています。「エルピーダの DDR3 メモリは Intel のデスクトッププラットフォーム上で完全に動作しています。この優れたシステム性能は、DDR3 が 2007 年のデスクトッププラットフォームのキーテクノロジーへ向かっているという明確なサインです。」

DDR3 メモリは、ハイエンドデスクトップ PC での採用を皮切りに、ノート PC、サーバ機器においても DDR2 メモリからの移行が見込まれています。

エルピーダではノート PC 向けの SO-DIMM やサーバ向けのレジスタード DIMM についても、順次、チップセットベンダーや大手顧客に提出し評価を開始、量産出荷の準備を進めています。また、このたびバリデーションを取得した DDR3-1066 のみならず、DDR3-1333 のシステム動作も確認しており、今後は 70nm プロセスの 1G ビット DDR3 を投入し、さらなる高速品の DDR3-1600 にも対応いたします。

エルピーダは DDR3 のリーディングベンダとして幅広い製品ラインアップを展開し、DDR3 プラットフォームの立ち上げを全面的にサポートしてまいります。

インテルバリデーション取得製品

- 512M ビット DDR3 SDRAM
EDJ5308BASE-AC-E/AE-E : DDR3-1066 (7-7-7)
EDJ5308BASE-8A-E : DDR3-800 (5-5-5)
- 1GB DDR3 アンバッファド DIMM
EBJ11UD8BAFA-AE-E : DDR3-1066 (7-7-7)
EBJ11UD8BAFA-8A-E : DDR3-800 (5-5-5)
- 512MB DDR3 アンバッファド DIMM
EBJ51UD8BAFA-AE-E : DDR3-1066 (7-7-7)
EBJ51UD8BAFA-8A-E : DDR3-800 (5-5-5)

以上

インテルは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標または登録商標です。

ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

●報道関係からのお問い合わせ先
エルピーダメモリ株式会社
広報グループ
電話 : 03-3281-1648
E-mail : press@elpida.com